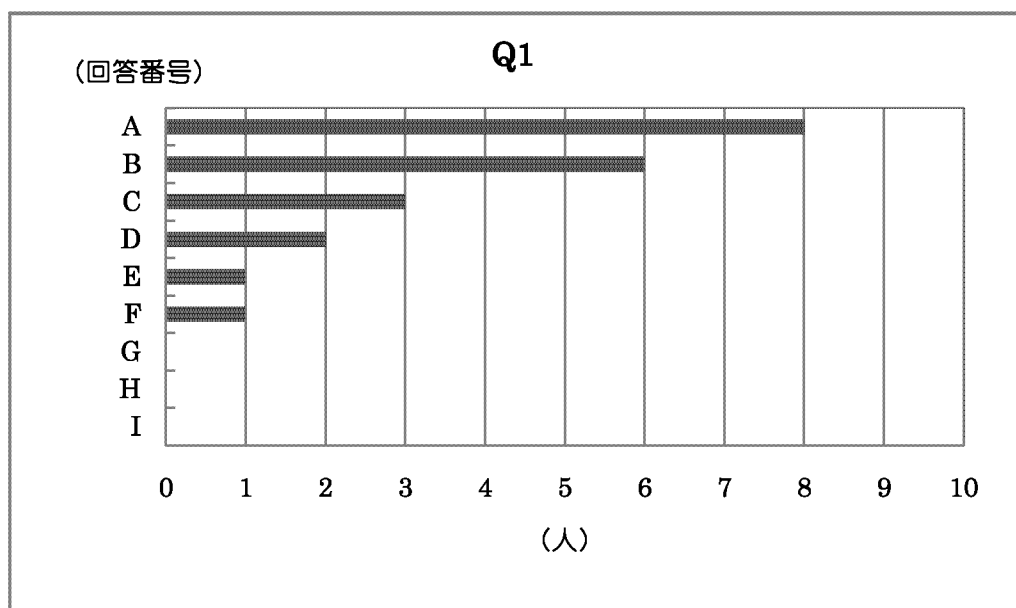


V アンケート

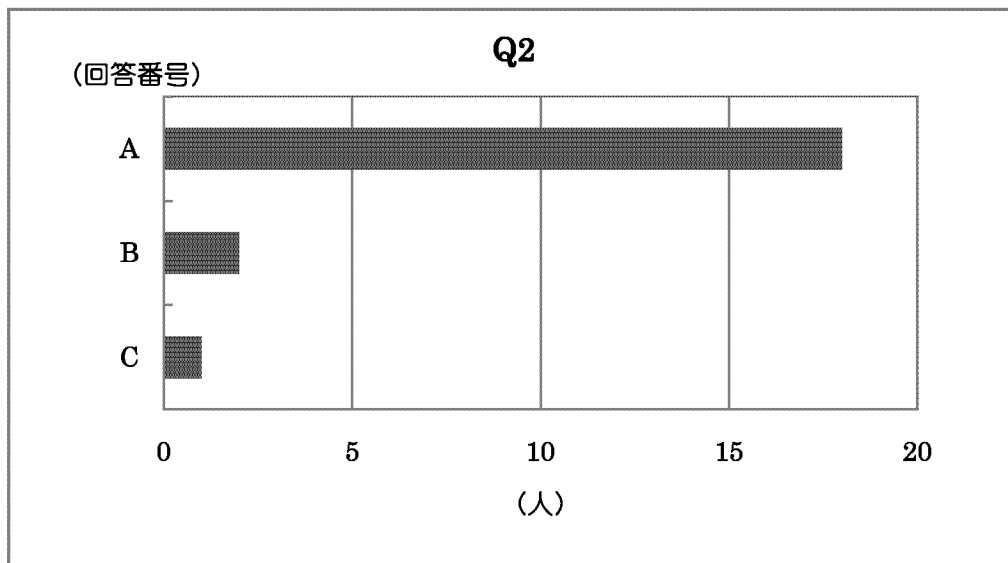
「アクセシビリティ・セミナー」参加者 55名
 アンケート回答者 21名

Q1：お立場は？



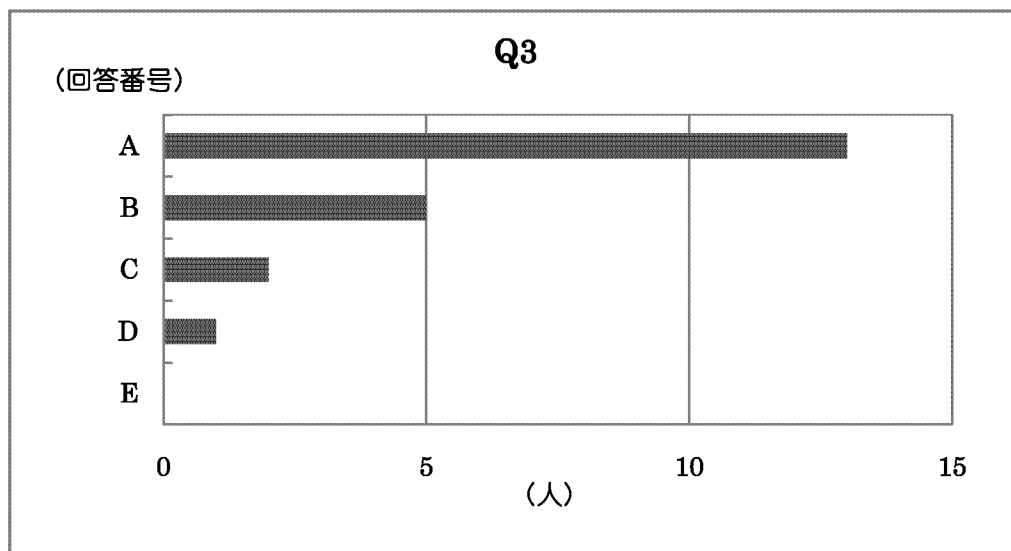
| | |
|------------------|---|
| A：中学，高校，高専教職員 | 8 |
| B：広島大学在学学生 | 6 |
| C：高校生 | 3 |
| D：広島大学教職員 | 2 |
| E：(広島大学以外の)大学教職員 | 1 |
| F：中学生 | 1 |
| G：保護者 | 0 |
| H：(広島大学以外の)学生 | 0 |
| I：その他 | 0 |

Q2：どちらからお越しですか？



| | |
|------------------|----|
| A：広島県内(東広島市内を除く) | 18 |
| B：県外 | 2 |
| C：東広島市内 | 1 |

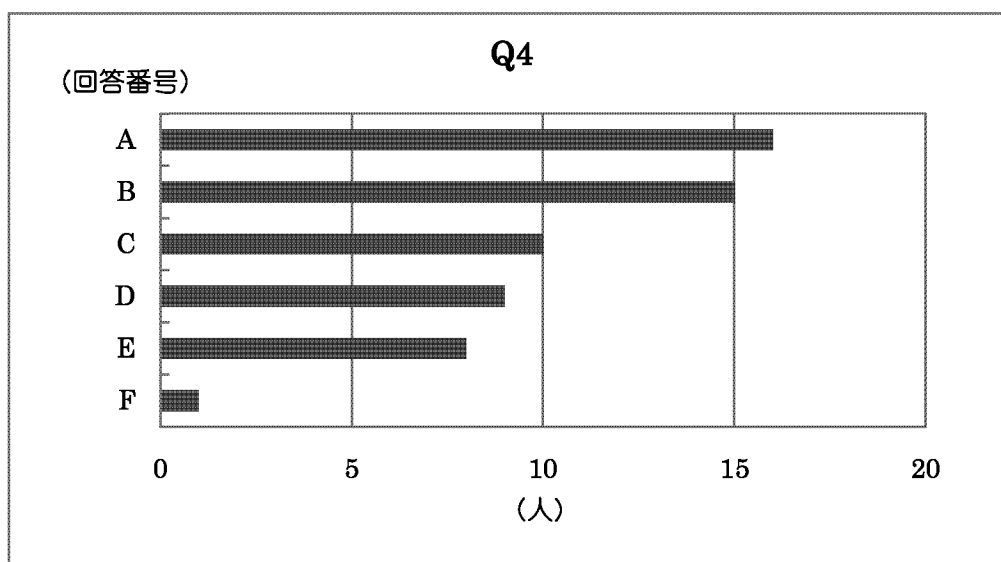
Q3：この講演会をどこで知りましたか？



| | |
|------------|----|
| A：新聞 | 13 |
| B：ダイレクトメール | 5 |
| C：ホームページ | 2 |

| | |
|--------|---|
| D：ポスター | 1 |
| E：その他 | 0 |

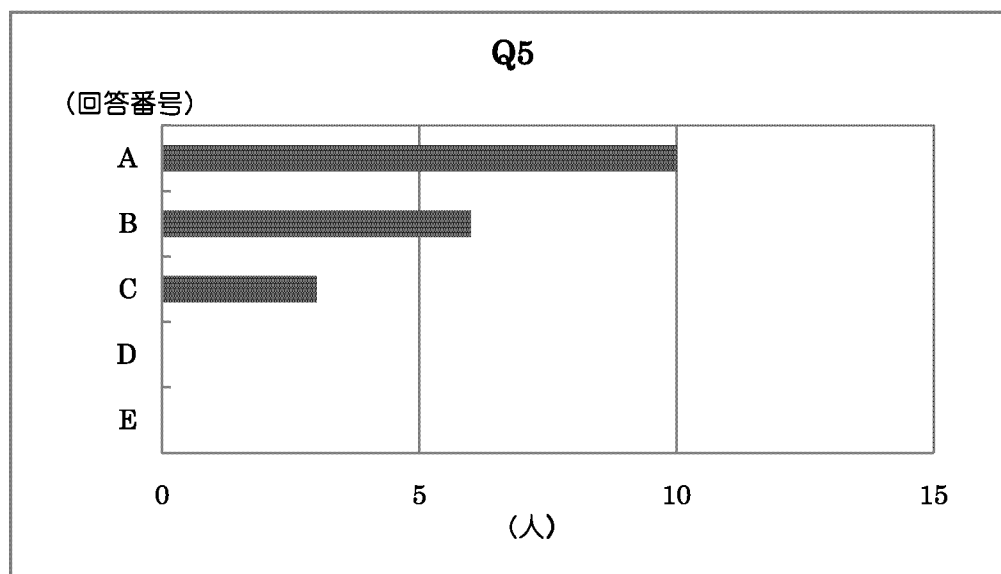
Q4：各講演の内容はいかがでしたか？関心を惹かれた公演すべてに○をつけてご記入ください（複数回答）。



| | |
|---|----|
| A：「大学における修学支援の方法」 | 16 |
| B：「障害学生の入学前指導から入学後の修学支援について-山口大学の事例を中心に-」 | 15 |
| C：「進学と修学に関する情報・意見交換会」 | 10 |
| D：「障害学生支援ネットワーク相談事業と、障害学生支援の現状について」 | 9 |
| E：支援技術体験会 | 8 |
| F：大学生からのメッセージ | 1 |

(複数回答)

Q5：セミナーの内容は全体的にいかがでしたか？



| | |
|-----------|----|
| A：良かった | 10 |
| B：非常に良かった | 6 |
| C：普通 | 3 |
| D：良くなかった | 0 |
| E：悪かった | 0 |

Q6：大学入試，大学における支援に関して，今回のセミナーで初めて知ったことや，さらに詳しく知りたいことなど，ありましたらお書きください。

- 支援が細かい所まで行き届いているとは思わなかった。
- 富山大など支援に積極的な（拠点校）がわかりました。
- いろいろな制度があって，少ないかな～と来る前は思ってたんですが，意外と多くてびっくりしました。
- 障害者を支援する拠点校があることを知りました。大学へ行く時にどこの大学にどんな学生がいるのか，どんな支援を受けることができるのか知ることができてうれしく思いました。
- 拠点校の具体名について初めて知りました。事前相談が大切であることがよくわかりました。
- 聴覚障害学生の支援，発達障害学生の支援の話について
- 日本学生支援機構の修学支援についての詳細
- 「障害学生修学支援ネットワーク」などがあるのを初めて知りました。
- 学校外での支援体制について（特に肢体不自由障害者の24h介助等）

- eラーニング，文字変換など技術の進歩がもっとひろがってほしい。
- 各大学の支援の具体，実際

Q7：障害のある高校生の大学進学を困難にしている要素には，どのようなものがあるでしょうか？

- 施設がどれくらい整っているか？
- まだまだ大学によって支援体制が整っていないことと，自分自身の学力
- 聴覚で言えば，情報保障が一番のネックになっていると思います。本人が開拓しなくてはならないことではありますが，どれだけ大学側が関心をもっているかで入学する生徒に安心感が表れると思います。
- 周りに同じような人がいるか，どうか。
- 受験の実感がなかなか伝え切れていないと感じています。
- まずは入るために必要な学力が十分でない場合が多い現状有り。
- 点字・拡大の受験教材があったら。（学力を上げるため）著作権の運用を考えてほしい。
- 生活や学生生活への不安があると思う。その詳しい資料や情報を簡単に手に入るようにしてほしいです。
- 高校や予備校での授業の内容が十分入っていないのではないかと心配しています。社会に出るときのイメージがまだできていないことも心配。
- 周囲の理解度：今日のスライドを見ていて，関係者ですら見にくいスライドを使ってしまう現状があることを見ると，いつも思うことだが，難しいと思う。
- 良質の環境の中で子どもたちは自分のニーズを知っていると思うので，どれだけ周囲が理解できているかは大切かなと思います。

Q8：中等教育（中学校・高等学校）から高等教育（大学・短大・高専）への進学の過程での課題として感じている点があれば，お書きください。

- コミュニケーション能力を伸ばしておくことが本当に大切であると実感しました。（成長期でなかなか難しいこともあります）本人の意思がしっかりしていないと難しい。
- 学生本人が必要な支援を自分で言う力を中等教育の間に身につけさせたい。
- まだ中学生なのですが，大学に行くための障害支援があるとわかりすごくよかったです。どうだろうか？…と不安が少しなくなりました。ありがとうございました。
- 早めの相談を高校側で進める。
- 中学までは聞こえの教室がありました。高校では公的な支援がないので本人任せです。
- 個々の障害，実態に応じたカリキュラム，支援もですが，時間（期間）的な配慮も必要ではないかと思っています。

Q9：今後のアクセシビリティ・セミナーで取り扱ってほしい内容があれば、お知らせください。

- 今、どこを話しているのか示したらいいと思う。
- 受験用の資料とか、全国の大学の障害学生が一元的に手に入れば
- 生活への支援
- 大学、地域によって、障害児の入試入学の対応に差がある。これからも差が大きくなってきそうな気がする。
- 「高等学校卒業までに、本人、保護者につけておいてほしい力」をお話願えると参考になります。学力のみでなく大学生の福祉の利用など事例を知りたいと思いました。

平成 21 年 8 月 30 日

平成 21 年度 広島大学 アクセシビリティ・セミナー
文部科学省・独立行政法人 日本学生支援機構「平成 21 年度 障害学生受入促進研究委託事業」
障害のある中高生のための大学進学セミナー
アンケート

(該当するものに○をつけ、ご記入下さい。)

Q1 お立場は？

- 1：中学, 高校, 高専教職員
- 2：中学生
- 3：高校生
- 3：(広大以外の)大学生
- 4：広島大学在校生
- 5：保護者
- 6：(広大以外の)大学教職員
- 7：広島大学教職員
- 8：その他

Q2 どちらからお越しですか？

- 1：東広島市内
- 2：広島県内
- 3：県外

Q3 この講演会をどこで知りましたか？

- 1：ダイレクトメール
- 2：ポスター
- 3：新聞
- 4：ホームページ
- 5：その他

Q4 各講演の内容はいかがでしたか？

関心を惹かれた講演すべてに○をつけてご記入ください。

- 1:「障害学生修学支援ネットワーク相談事業と、障害学生支援の現状について」
- 2:「障害学生の入学前指導から入学後の修学支援について—山口大学の事例を中心に—」
- 3:「大学における修学支援の方法」
- 4:進学と修学に関する情報・意見交換会
- 5:支援技術体験会
- 6:大学生からのメッセージ

↓ 裏面へ続く ↓

Q5 セミナーの内容は全体的にいかがでしたか？

- 1：非常に良かった
- 2：良かった
- 3：普通
- 4：良くなかった
- 5：悪かった

Q6 大学入試, 大学における支援に関して, 今回のセミナーで初めて知ったことや, さらに詳しく知りたいことなど, ありましたらお書きください.

Q7 障害のある高校生の大学進学を困難にしている要素には, どのようなものがあるでしょうか? 課題として感じている点があれば, お書きください.

Q8 中等教育(中学校・高等学校)から高等教育(大学・短大・高専)への進学の過程での必要な障害学生支援のあり方に関して, ご意見, ご感想をお聞かせください.

Q9 今後のアクセシビリティ・セミナーで取り扱ってほしい内容があれば, お知らせください.

アンケートへのご協力ありがとうございました.